

「チャレンジサマーキャンプ in ASO」事業報告書

企画指導専門職 安部 信吾

1 事業の概要

- (1) 趣 旨 子供たちがたくましく生きる力をはぐくむために、キャンプや沢登りなどの自然体験や調理体験などの多様な体験をさせるとともに、集団宿泊体験を通して、規則正しい生活習慣や自立する力、困難を克服する力を身に付けさせる。
- (2) 期 日 平成29年7月30日(日)～8月2日(水) 3泊4日
- (3) 活動場所 国立阿蘇青少年交流の家 国造神社・宮川(沢登り) 二重峠(ハイキング)
- (4) 参加者 40名(児童養護施設入所している幼児・児童・生徒30名、施設職員10名)
- (5) 講 師 薄井 良文 氏(研修指導員) 立川 浩司 氏(研修指導員)
藤原 美里 氏(研修指導員) 坂井 章加 氏(研修指導員)
- (6) 担当職員 安部 信吾(企画指導専門職) 小宮 広明(事業推進室長)
三枝 ひとみ(企画指導専門職) 松元 延行(事業推進係長)
宇戸口 健(事業支援室係員)
- (7) 内 容
 - 【1日目】・開会式 ・テント設営 ・野外調理
 - 【2日目】・野外調理 ・サイクリング ・沢登り、沢遊び ・キャンドルのつどい
 - 【3日目】・草原ハイキング ・野外調理 ・星座観察
 - 【4日目】・テント片付け ・閉会式

2 成果と課題

- (1) 成 果
 - 「みんなでサイクリングやテント、沢登りをしてとても楽しかったです。」「テントで泊まるのは体が痛くて、暑かったり寒かったり大変だったけれど、楽しかった。」「ハイキングはとてもきつかったけれど、みんなで上まで行くことができ、最後まであきらめずに良かった。」などの感想が多数みられ、キャンプ生活や自然体験活動が参加者にとって印象に残る体験だったとともに、困難な活動にもチャレンジをしながら、達成感を味わわせることができた。
 - 沢登り・沢遊びにおいては、実地踏査や研修指導員との打合せを入念に行い、安全の確保とともに発達段階に応じた活動の工夫を行うことができた。
 - 調理体験では、「カレーなど、失敗したり汗を流したりしながらみんなで作ったからおいしかった」「ご飯を作るのが大変だった。でもすごくおいしかった。」との感想もあり、仲間と協力しながら最後まで活動することができた。また、4回の野外調理を行い、手際よく調理ができるようになっていった。
 - 研修指導員に調理指導をしていただき、阿蘇の野菜についての話や熊本の郷土料理と「朝ごはんポケットレシピ」を活用した調理活動ができた。
- (2) 課 題
 - 野外調理班で、幼児と引率者の班があり、引率者が調理している際の幼児の管理ができず大変な様子であった。事前に班編成を確認し対応できるようにしておく必要があった。
 - サイクリング、沢登り、ハイキングの活動を実施したが、参加者(引率も含め)の体力の差もあり、かなり疲れた様子も見られた。参加者の体力に合わせた活動が選択できるようなプログラムも検討していきたい。